

だいち通信 VOL. 64

〒080-0016 帯広市西6条南6丁目3番地ソネビル2F TEL (0155)-24-8989 FAX(0155)-20-7367
E-mail shien-daichi@ymail.plala.or.jp URL http://www.keisei-kai.jp/daichi/



令和2年度スタートです

世界中がコロナウイルス感染拡大のため様々な活動に影響が出ている

中、当センターにおいても、昨年度末から会議や研修会等を延期せざるを得ない状況が続いております。そのような中で新年度がスタートし、先々の見通しが立たない不安と向き合いつつ、昨年度までと同様に皆さまの力をお借りしながら、微力ではありますが地域の就労支援の一助になれるように活動して参りたいと思います。

今年度の当センターの目標は「再構築」です。様々な制度や仕組みが整ってきている中で、それぞれの役割を再確認しながら、体制を見直していくことが必要な時期に入ったと考えています。就労を切り口とした地域の活性化を目標に、様々な関係機関がお互いにつながりあえる地域づくりを目指します。今年度もよろしくお願ひ致します。

＜今年度の重点目標＞

- 個別に丁寧に就労支援のプロセスを歩んでいける相談体制について再構築していきたいと考えます。
- 定着支援のあり方について、個別支援の体制づくり・より効果的な研修や学び合い体制の提案・関係機関連携のあり方等様々な視点から再構築していきたいと考えます。
- 市町村を中心にシステム化されてきた、相談支援体制や就労支援体制について、より効果的に活用できるように状況を整理し、再構築していきたいと考えます。

センター長 新明 雅之

＜2020年度 スタッフ体制＞

センター長	新明 雅之	主任職場定着支援担当者配置
地域就労支援係長	佐藤 尚美	主任就業支援担当者配置
就業支援担当者	谷野 朱莉	
	後藤 友美	
	荻原 卓也	法人内就労移行支援より異動
生活支援担当者 主任	梶山 雄生	ジョブコーチ兼務
	高橋 仁美	法人内若者サポートステーションより異動

福祉・企業・行政・当事者など、様々な皆様のニーズにお応えできるよう各種研修を企画しています。昨年度より立ち上がった企業プロジェクトや就労系障がい福祉サービスへのアンケート調査を活用し、更なる充実したラインアップを揃えました。

だいち 2020年度 研修体制

	研修名	対象者	時期	内容
障がい当事者対象	社会人基礎研修	入社間もない方 基礎を確認したい方	年数回	社会人のルールやビジネスマナー、コミュニケーションなどの基礎知識を学びます
	課題別研修	興味のある方なら誰でも	年数回	働く人に必要な情報を提供します
	スキルアップ研修	基礎を理解している方	年数回	参加者との話し合いから気づきを得て、自分以外の考えを取り入れる研修です
企業対象	働く大人のしゃべり場	働く当事者	定期開催	相談をするまでではないが、ちょっと立ち寄れる機会を作ります（自己発信の場合）仲間と、気兼ねなく語り合える場を作り自助の力を高める場の提供です
	ピアサポート研修	求職者	随時	仕事の魅力発見フェスの担当や、求職者に向けた発信を行います
	就労準備研修	求職者	随時	社会人になる前に身に付けておきたい知識や自己理解のための研修を企画します 特別支援校の皆様には当センターの活用法を含め、ご本人・親御さん対象にも行っています
関係機関対象	帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会	就労支援に携わる方	年数回	講演会・研修会方式で障がい者雇用に関する法制度や就労支援のノウハウなどの情報提供を行い、皆さんと共有する場です また、地域の事業所の横のつながりを持てる場を提供し、自分たちの課題の共有と課題の整理を行うことを検討しています
	就労支援担当者 スキルアップ研修		随時	就労支援のスキルアップを目的とした実践研修です 十勝管内の障がい者雇用の中核となる人材の育成を行います
関係機関対象	障がい者就労支援 ネットワークセミナー	町村関係者	随時	地域における情報の共有・課題の整理・雇用の促進ため、顔の見える関係づくりを目指しています 地域診断を行うとともに、地域のニーズを踏まえた企画を行います
	地域就労支援連絡協議会	どなたでも	随時	幅広い方を対象に、法制度等に関する情報提供や地域の現状について共有します

※年度当初に計画しておりました研修体制になります。コロナウイルス感染拡大防止により、刻々と情勢が変化することが予想されます。社会情勢に合わせ、研修内容や日数・時期を再検討する等、柔軟に研修体制を整えて参ります。

令和元年度 実績報告

～毎年、厚生労働省と北海道に報告している年間の実績数をお知らせします～

相談件数・実習斡旋等前年を上回る実績となりました。裏面にもご紹介しております通り、企業プロジェクトとの連携によるイベント開催など、福祉サービス事業所と障がい者雇用の取り組みをすすめている企業の関係づくりに重点を置いたことにより、就労を目指している方の情報共有が多くなされた結果と考えられます。

支援対象登録者数	身体	知的	精神	その他	合計
	21 (9)	210 (56)	140 (38)	90 (26)	461
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	(134)
	66 (25)	0	5 (1)	19	

○の値は新規利用者の内訳です。
※新規利用者数には、継続相談に至らなかった方（情報提供のみ等）は含んでおりません。

相談支援件数	身体	知的	精神	その他	合計
	141	2,851	2,529	1,282	6,803
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	959	0	124	199	

相談者に対しての支援力向上のため、各種実績の共有や相談体制づくりを引き続き地域の皆さんと連携して行っています。今後ともよろしくお願ひ致します。

職場実習斡旋件数	身体	知的	精神	その他	合計
	3	52	18	12	85
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	9	0	0	3	

就職件数	身体	知的	精神	その他	合計
	2	33	12	8	55
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	※A型利用の件数は入っていません
	5	0	0	3	

職場訪問による 定着支援	身体	知的	精神	その他	合計
	25	544	393	138	1,100
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	130	0	1	7	

今年は、皆さんの町村に伺います

ご協力
よろしくお願ひします

昨年3月に、就労系障がい福祉サービス事業所に対する実態調査のご依頼をいたしました。その前段階として、昨年6月～7月にかけて十勝総合振興局社会福祉課や地域づくりコーディネーターの協力を頂き、18町村役場に対する聞き取り調査を行いました。その際に町村における障がいのある方のニーズの把握が必要であることや、地域資源が少ない町村におけるサービスの提供のため、地域の福祉サービスが本来求められている役割を超えた対応を行っている実態を改めて感じることができました。そこで、今回は就労系障がい福祉サービス事業所の皆さんへアンケートをお願いし、事業所内職員の体制や事業所の運営についてもお聞きしております。このアンケート内容につきましては、帯広市とともに協議し、帯広市内には帯広市が、町村については当センターが送付しております。アンケートの内容を深め、地域に必要な活動を行っていくために、現在の状況を鑑みた上で、皆さんの町村と福祉サービス事業所に訪問し、ご意見を伺いたいと考えております。その際に、当センターで作成しております「資源マップ」の内容更新のための聞き取りも行いますのでご協力ください。皆さんの忌憚のないご意見を伺い、今年度の当センターにおける事業の計画や、今後の地域づくりの参考にさせていただきます。コロナウイルス対策の状況を確認の上、調整を行いますのでよろしくお願いいたします。



よろしくお願ひします！

異動のあいさつ

たかはし ひとみ
高橋 仁美

おぎはら たくや
荻原 卓也

みずたに さとみ
水谷 さとみ

ほり はづき
堀 はづき

初めまして。異動して参りました。3月末まで「おびひろ地域若者サポートステーション」で、十勝の「若者」の就労支援を行ってまいりました。4月からは、生活支援ワーカーとして、就業に伴う「生活上の支援」を主に担当させていただくことになりました。今までの経験を活かしつつ、気持ちも新たに、仕事を早く覚えて、皆さまのお役に立てるよう努めて参ります。これから何卒よろしくお願ひ致します。

4月1日付で異動してきました。出身地は留萌市で、昨年3月に十勝に引っ越して来たばかりです。昨年度は帯広ケア・センターの就労移行支援ジャリブに所属し、利用者さんの就職に関する支援を行っていました。だいちでは就労支援ワーカーとして勤務させていただきます。仕事や地域も含めて知識不足や不慣れなことばかりですが、早く皆さんのお役に立てるようになりたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

4月から、同法人の就労移行支援事業所ジャリブへ異動しました。7年間、地域の皆様にはお世話になりました。「顔のみえる関係づくり」を念頭に、関係者の方々が相談を持ちかけやすい雰囲気をつくる意識で業務にあたっていました。今後も、「地域で働く」を応援することには変わりないですし、別の形で皆様にはご協力を頂くことが多々あるかと思っておりますので、変わらずよろしくお願ひ致します。

お世話になりました！

♪別紙には、昨年度の研修ダイジェストを掲載しております。ぜひご覧ください♪

昨年度のだいいち研修ダイジェスト

昨年度は、計22回の研修やイベントを企画・運営し、延べ600名を超える皆様にご参加いただきました。障がい者雇用促進を軸に、理解の啓発や支援者のスキルアップ、就労中の当事者のための研修など様々な目的で実施いたしました。

雇用促進・就労定着プロジェクト

当センターで開催していた企業研修に、ご参加・ご協力していただいていた障がい者雇用に関心な企業15社が結集し、プロジェクトを立ち上げました。

このプロジェクトの任務は、

- ①地域の障がい者雇用の促進
- ②就労後の定着支援体制の充実
- ③障がい者雇用に関するノウハウの共有の3点です。

昨年度は立ち上げ年ということもあり、地域の皆さんに活動を知ってもらうことに力をいれまいりました。「企業から福祉へ」

「企業から求職者へ」をテーマに行った活動の中から「就労系障がい福祉サービス事業所見学会」「仕事の魅力発見フェス」のご紹介をいたします。

年11回の活動を実施しました！



就労系障がい福祉サービス事業所見学会 令和元年7月～

自社で雇用している方の就労定着の学びを深め、新規雇用者獲得のため、9か所の事業所見学を行いました。施設内の構造化やマニュアルの作成、仕事の組み立ての工夫など、福祉が当たり前に行っている工夫が、企業の方にとってはとても新鮮だったようです。仕事の見学の後は、利用者さんとの座談会を行い、皆さんの今までの経験や就職に対する思いを聞くことが出来ました。



話し合いでは、自分の悩みや企業の方への質問に答えてもらうコーナーもあり、利用者の皆さんは企業の方からエールをもらう時間にもなりました。今回の見学を通し、「企業の方が来る」ということが、利用者さんに新鮮さと刺激を吹き込むことになったようです。

計3回9事業所へ訪問しました



定着支援研修・余暇支援

働く当事者対象 定期開催の研修です

当センターでは、企業で働く障がいをお持ちの方を対象に、必要な知識やスキルアップの材料となることをテーマに取り上げ、参加者自身の成長や働くエネルギーに繋げていくことを目的とした『在職者向け定着支援研修会』を、年数回実施しております。約6年前から始まったこの研修では、参加者が年々増加し、働く業種や企業文化、経験年数等もバラバラの中、知識を学ぶだけでなく、意見交換の場も交えながら共感し合い、刺激を受けながら仲間とのつながりを持つ場にもなっていると感じます。昨年度は「社会人としての基礎知識について」や「社内でのコミュニケーションのポイント」、「ストレスとの上手な向き合い方」等の内容について、外部講師や企業の雇用担当者にもご協力を頂きながら実施して参りました。参加者層が幅広くなる中でニーズも多様化しておりますが、経験年数や各々の目標に合わせた効果的な研修会となるよう、今後も企画・運営をしていきたいと考えております。



また研修の場だけでなく、リフレッシュや余暇を楽しむことを目的とした余暇活動についても別途企画をしており、昨年度は女性の方を対象とした「こころとからだの健康」について考える時間を設けました。

「働き続けること」と「働く土台となる生活」との両方がバランス良く保てるよう、こちらも必要に応じて企画が出来ればと考えております。



仕事の魅力発見フェス 令和2年1月16日14:00～(とちぎプラザ大集会室)



障がいのある求職者に向けて、仕事の体験会を開催しました。ステージイベントでは働く6社の先輩からの仕事の内容や、やりがいについての話を聞き、体験ブースで7つの仕事体験ができるという2本立てのイベントでした。当日は160名を超える方が集まり、熱気あるイベントになりました。仕事の体験では延べ200名以上が、実際に仕事で使う道具を用いて体験することができました。「見たことがある」「聞いたことがある」とは違った生の体験で、仕事に対するイメージが持てたとの参加者からの声が聞かれました。同伴された事業所の方からは、「フェスに参加するために、服装やマナーなど事前準備をしてきた」と就労支援プログラムの一環で利用していただいた嬉しい声も聞かれました。また、当日は障がい理解を深めるために、雇用を考えている企業の方もお越しくださいました。障がい者雇用の経験豊富なメンバーが、雇用に関するノウハウや心構えをお伝えする機会を設けました。企業同士がつながりを持ち、お互いの悩みやノウハウを伝えあうこともプロジェクトの大きな役割の一つです。

就職を目指す求職者が参加 十勝初の体験イベントです！



企業相談の様子

就労支援担当者スキル向上研修

令和元年12月12日(ソネビル6階会議室)

地域の就労支援の中心となる人材育成 ジョブコーチのエッセンスで支援ノウハウを身に付ける

就労支援担当者スキル向上研修は、十勝の就労支援を牽引しうる人材の育成を目指すことを目的に、12月12日に実施されました。企業、福祉、教育の分野から30名の方にご参加いただき、熱のこもった研修となりました。研修には定員の30名を超えるお申し込みをいただき、参加をお断りした方もいたことを、この場を借りてお詫びいたします。午前の部は「伝える技術・企業との交渉」をテーマに、企業訪問時の聞き取りから交渉まで、押さえておきたいポイントを講義で確認した後、ロールプレイを行いました。ロールプレイでは、参加者でもある企業担当者を相手に、実際の求人票を確認しながら、企業との交渉方法について学びました。企業の方の気持ちを確認することよりも、自分たちの要望ばかりを伝えてしてしまう傾向があったり、福祉では当たり前な専門用語を用いることによって、却って話をわかりづらくしてしまうなど、企業と関わる際に気を付けるべきポイントを体験しながら学べる良い機会となりました。午後の部では、「わかりやすく教える技術」をテーマに講義を受けた後に、課題分析からシステムティックインストラクション技法を用いた実践を行いました。日ごろ何気なく当事者に関わっていたことに対して、あえて伝え方の段階を意識して分析しながら関わることは、考えている以上に難しさがあり、指示を出す際に相手に余計な情報を伝えすぎて、混乱を招いていることに気がついた方も多かったと感じます。今回の研修会を通して、十勝管内の就労支援に関心な皆さんが沢山いらっしやることを再確認することが出来ました。今後も知識や技術を高める研鑽の機会を設けたいと思います。



講師・参加者・事務局の集合

帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会

企業、教育、医療、福祉、行政など各関係機関対象に 就労支援に関するテーマについて話題提供を行います



この部会は関係機関が集まり、就労支援・生活支援・定着支援等の支援力の向上や関係機関との連携構築の場とすることを目的に、開設当初より様々な機関と連携して行っておりましたが、平成28年度から帯広市と協同で自立支援協議会の部会として開催しております。昨年度第1回目は、北海道障害者職業センター 高橋真也氏をお招きし、『障がい特性（知的障がい・発達障がい・精神障がい）と職業的課題、及び支援上の留意事項』というテーマについて講義をいただきました。各障がい特性や支援のポイントを分かりやすく伝えていただき、今後障がい者雇用を進めようと考えている企業やこれまで障がいをお持ちの方との関わりが少なかった方も含め、障がい者雇用に向けての理解を深める機会となったのではないかと思います。第2回目には、『企業文化を知り、障がい福祉サービス事業所に求められる人材育成を考える』というテーマの元、「今さら聞けないビジネスマナー」の講習や、企業で働く障がいをお持ちの方と雇用担当者にご登壇いただき「障がい者雇用についての実践発表」を行いました。就労支援に携わる関係機関の皆様へ向けて、企業文化や企業側の感じる生の声を伝えていただき、『企業の思いを知る』貴重な機会となったのではないかと思います。今年度も障がい者雇用の理解促進や啓発に向け、地域の関係機関や企業の皆様との連携し、地域の力の底上げを目指します。今後も多くの皆様にご参加いただけますと幸いです。



企業のパネルディスカッション